

総 括 質 疑 並 び に 一 般 質 問 (個 人 質 問)

【質問日】 令和 8 年 9 月 7 日 (月)

質問 順位	質 問 者	質 問 事 項
1	宮 野 健 一	1 令和 8 年熊本地震の教訓等を踏まえた今後の対応について (1) 本庁舎の耐震基準及び本庁舎が使用できなくなった場合の代替庁舎、市民サービスの業務継続計画の現状を示せ。 (2) 災害により市役所機能の移転、分散配置などが必要となる場合、業務継続のための D X 化は重要な要素であるが、システムの可搬性、バックアップデータへのアクセスによる場所に制限されないネットワークの再構築などの対応は考慮されているのか、災害時の業務継続に関わる D X 化の現状を問う。 (3) 甕断層帯で地震が発生した場合、甕島、本土圏域を含め家屋の倒壊や津波による甚大な被害が懸念されるが、現状の被害想定、避難要領等の防災対策は妥当なものか、また、今回の熊本地震を受け見直す考えはないか当局の見解を問う。 (4) 熊本地震における猛暑、停電、断水等の状況下での避難所運営の現状に鑑み、市内全域で甚大な被害が発生した場合、広域避難あるいは 2 次避難先への速やかな移動等を避難の基本的方針とすべきと考えるが、以下の事項も含め具体的な施策を示せ。 ア 広域避難に関わる近隣自治体との協定の現状 イ 民間宿泊施設の借り上げに関する協定の現状 2 A I データセンター立地に伴う今後の市政の在り方について (1) 市長は今回の A I データセンターの誘致はいかなる意義があるものと認識しているのか、また、この機会を今後の市内経済の活性化・発展や行政サービス等の市政運営にいかに関与させていくのか、市長の思い若しくは決意を問う。 (2) 国内最大規模となる A I データセンター立地の機会を最大限生かし、本市の発展を確たるものとして行くには、明確な目的、具体的な目標を市民と共有し、利益を市民に還元する具体的な施策を示した市政全般に関わる全体構想が必要であると考えますが当局の見解を問う。 (3) 本市の持続ある発展を確保するための全体構想のなかで長期的かつ戦略的に取り組むべき重要施策として以下の事項を提言するが当局の見解を問う。 ア データセンター立地に伴う経済財政効果を適切かつ効果的に市民生活へ還元するとともに、財政規律維持のための長期的視点に立った財政見積りの策定 イ 関連企業誘致に関する方針として薩摩川内市の特性を踏まえると共に、国家的プロジェクトとしてふさわしい役割を果たすため、核融合発電に関わるスタートアップ企業、研究機関などの A I と G P U サーバー等の能力・資源を必要とし、かつ、将来性が期待されるスタートアップ企業等の戦略的誘致 ウ A I データセンターを核とする先端の I T 産業クラスターで必要と

		される人材育成や若者に選ばれ、若者が定着する街となるため、群馬県で取り組む小中高生を対象にしたデジタルクリエイティブ人材育成拠点「t s u k u r u n」や中高生を対象としたアルメニア発祥のデジタルクリエイティブ人材育成拠点「TUMO Gunma」のような無料で学べる裾野の広い人材育成拠点の整備 3 甑島における小児医療体制の向上について (1) 甑島における小児医療体制及び小児医療に関わる支援制度の現状を示せ。 (2) 甑島で子どもたちを育てるご家族が安心して暮らせるように、小児緊急医療に24時間365日対応可能なオンライン診療体制を構築すべきであると考えているが、当局の見解を伺う。
2	山 元 剛	・ 三世代近居・同居の推進について (1) 本市として、三世代近居・同居の支援は何か取り組んでいるか伺う。 また、取り組んでいる場合は、どのようなものか伺う。 (2) 本市は、三世代世帯の推移をどのように把握し、分析しているか。また、三世代近居・同居がもたらす福祉・教育・地域への多角的な波及効果について、当局はどのような認識か伺う。 (3) 本市独自の三世代近居・同居の実現に向けては、関連する部署が多岐にわたり、部課横断型のプロジェクトチームが必要と考えるが、検討する考えはないか伺う。 (4) 三世代近居・同居の推進は、少子化対策、高齢者の生きがい創出や健康維持、思いやりある子どもたちを育成するための情操教育と家族の絆の深化及び地域の風習や伝統の継承など、その効果が波及的に広がると考えるが、市長の考えを伺う。
3	松 澤 力	1 今後のAIデータセンター建設事業の影響を考慮した、川内原発3号機増設推進と原子力防災対策強化について (1) AIデータセンター建設後の本市での安定した電力供給体制について ア 本市の現在の全世帯数と電力使用量を伺う。 イ 今後、建設が計画されているAIデータセンターは、累計350メガワット規模の電力量とされるが、何世帯分の電力使用量となるか。 また、将来的に目指す予定である累計1ギガワットのAIデータセンターの電力量は何世帯分の電力使用量となるか伺う。 ウ 将来にわたって、市民や市内企業に安定した電力料金で、電力の安定供給を行いながら、国内最大規模となるAIデータセンターの事業を推進していくために、安全性を更に高めた次世代型の川内原発3号機の増設を実現することは、本市にとっても非常に重要な事業だと考えている。そこで、今後、事業者が原発増設を円滑に進めていけるように、鹿児島県等とも連携しながら、関連する国の政策推進を要望することを本市で検討できないか伺う。 (2) 原子力防災シェルターの整備について ア 政府は2026年3月、ミサイル攻撃等の有事や災害に備えて住民が避難する「シェルター（緊急一時避難施設）」の確保に関する初の基本方針を閣議決定した。東京都では地下シェルターの整備が予定されているが、政府の方針である全国の地方自治体でのシェルター整備について、本市ではどのように情報収集・認識をされているか伺う。 イ 原子力防災シェルターについては、地下シェルター・エアシェルタ

		一や地上型のシェルター等のタイプがあるようだが、今後、自治体で検討していく原子力防災シェルターについては、どのような先進事例があるか伺う。 また、シェルター整備について、地方自治体を支援する国の政策について伺う。 ウ 本市には、川内原発を含めて、国策となっている重要な施設が複数存在している。そのため、万が一の非常事態も想定して、国の事業も積極的に活用しながら、原子力防災シェルターを複数整備しておく優先度の高い自治体だと考えている。今後の原子力防災力等を更に高めるため、国の事業を活用した原子力防災シェルター整備を検討できないか伺う。 2 宅地化が進む地域の水路・合併処理浄化槽管理や農業用設備の修繕等について (1) 住宅増加地域の水路管理について ア 土地改良区や本市において管理する水路については、どのように管理の役割が決められているか伺う。 イ 近年においては、本市の各地域で農業に従事される方が減少しているが、住宅建設が増加している地域では、農業用水関係で使用されている水路と住宅からの生活排水が流される水路が混在して使用されている。このように使用用途が混在している水路は、どのような地域に多く存在しているか伺う。 ウ 農業従事者や土地改良区の方々も高齢化している中、水路の管理の在り方も、再検討の必要があると感じている。現状、土地改良区で管理している水路の中で、住宅建設が増加している地域の水路を、一部本市による管理に変更していく検討ができないか伺う。 (2) 住宅における合併処理浄化槽の維持管理・法定検査について ア 本市において、住宅に設置されている合併処理浄化槽の保守点検・清掃・法定検査等の管理方法について伺う。 イ 福岡市では、浄化槽法定検査手数料について、物価高の影響を受ける市民の生活を支援するために、維持管理に必要な浄化槽法定検査手数料の年一回分を全額補助している。今後、本市においても検討ができないか伺う。 (3) 各地域の農業用設備の修繕対応や予算について ア 本市の各地域における農業用設備の修繕対応が必要な箇所については、土地改良区からも担当部署に修繕依頼の申請等が出されていると認識しているが、毎年どの程度の件数の修繕要望が出され、実際に農業用設備の修繕対応ができているか、それぞれ件数の推移を伺う。 イ 今後、次世代の農業従事者に本市の農業用設備をつないでいくためには、各地域の農業用設備の修繕・維持していくための予算額を更に増額していく検討が必要ではないかと考えるが、本市の考えを伺う。
4	森 永 靖 子	1 社会福祉協議会の災害時・緊急時の対応について伺う。 2 樋脇保健センターの利活用について伺う。 3 9月は厚生労働省が定める「食生活改善普及運動の実施をする期間」だが、市としてどのような取組をされるか伺う。 4 熱中症や災害時の健康維持のため、本市の小学校・中学校の体育館に冷暖房を整備できないか伺う。

		5 雨の日等は校庭がプール状態になるため、可愛小学校裏の駐車場から裏校庭に通じるように階段を設置できないか伺う。 6 田中市長の任期が折り返しを迎えるが、市政２期目の中間評価として市民に対し、アンケート調査をされる考えはないか伺う。
5	上 野 真 一	1 薬物乱用について (1) 本市における、薬物乱用、過剰摂取等の疑いによる救急搬送の件数を伺う。 (2) 鹿児島県警察ホームページから「県下における薬物事犯の検挙状況」をみると令和７年の覚醒剤事犯が２７人１４グラム、大麻事犯５０人１，５３１グラム、麻薬及び向精神薬事犯が４人２６グラムで、令和６年もほぼ同等である。このような現状の中、本市はどのような対策をとっているのか伺う。 (3) 短期間に病院を受診し、睡眠薬・精神安定剤を大量に処方してもらおうとした方がいる。マイナ保険証が定着し、受付で履歴が確認できることから発覚した。医師、薬剤師の方にこのような事案がないか話を聞くと「聞いたことがある」とのこと。自分で服用せず、他人に転売していることが問題視されているが、市はこのような現状をどのように考えるか。また、対策を伺う。 2 特殊詐欺について (1) 特殊詐欺の相談窓口はどこか。 (2) 市民が特殊詐欺にあわないように、市はどのような対策をとっているか。 3 青色防犯パトロールについて、担当地区以外でもパトライトを点灯し、市内運転できるよう基準を緩和できないか伺う。 4 まもなく新米が収穫されるが、米を活用したイベントができないか。 5 農業に関する水不足について、相談件数と対策を伺う。